

1. 平成 28 年度 水道事業決算状況

資料 2

(1) 総括事項

平成 28 年度から簡易水道事業を水道事業に統合したことにより、前年度決算に比べ本年度決算については、旧簡易水道事業分が増加しております。

平成 28 年度における水道事業の給水人口は、25,294 人で行政区域内人口に対する普及率は 90.36%となっており、有収率については、前年度の有収率から 0.84%減少し 82.26%となっています。

平成 28 年度決算において、収益的収支では 2,701 千円の純利益を計上しましたが、次年度以降見込まれる損失に充てるため、昨年同様、積立金等に処分せずに未処分利益剰余金として繰越しています。

資本的収支では、最終年である拡張事業送水管新設工事（191,462 千円）、導水管更新の増などにより、事業費前年比 68,264 千円増となり、資本的収支不足額が 13.60%増加しています。

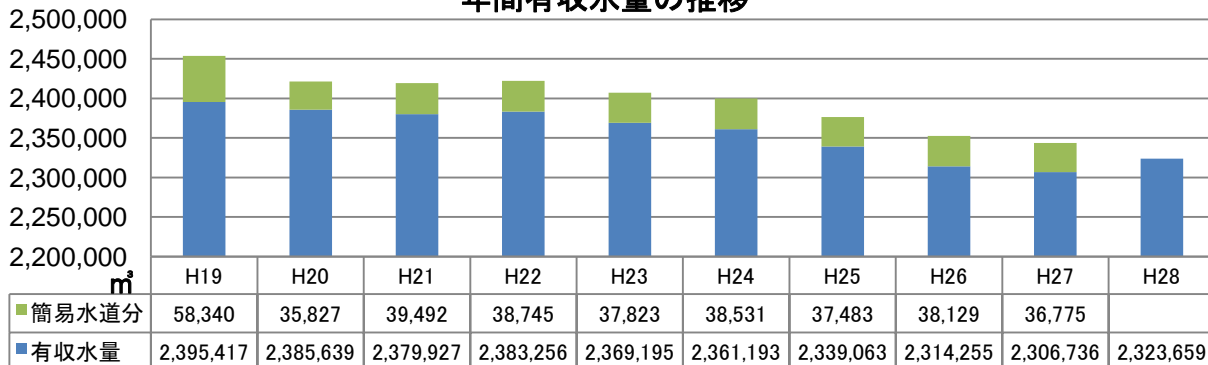
水道事業としては、安全安心な水を安定的に供給するために、水源確保と水質管理の強化を図り、経営の健全化に向け施設の効率的な維持管理や計画的な更新と経費の節減に努めてまいります。

【給水状況】

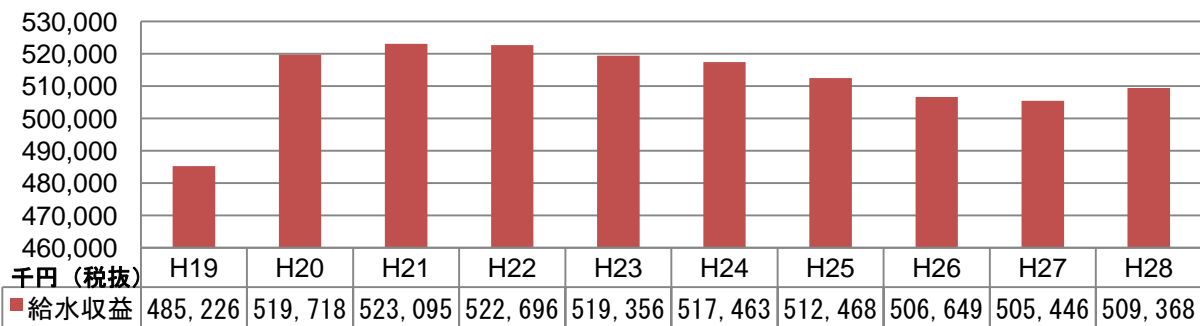
※「27 年度」には旧簡易水道分を含め対前年度比較としている。

事 項	単位	28 年度	27 年度	対前年度比較	[参考]27決算値	備考	
行政区域内人口	人	27,944	28,280	△ 336	28,280	住民基本台帳 3 月末人口	
給水区域内人口	人	27,293	27,606	△ 313	27,206	給水区域内の 3 月末人口	
給水人口	人	25,249	25,606	△ 357	25,264	住民基本台帳上の給水者数	
普及率	行政区域内	%	90.36	90.54	△ 0.2	89.30	
	給水区域内	%	92.51	92.76	△ 0.3	92.90	
年間総配水量	m ³	2,824,888	2,820,046	4,842	2,775,950	浄水場からの配水量	
1 日平均配水量	m ³	7,739	7,705	34	7,585		
1 日最大配水量	m ³	8,742	8,528	214	8,363		
年間有収水量	m ³	2,323,659	2,343,511	△ 19,852	2,306,736	水道料金の対象となった水量	
有収率	%	82.26	83.10	△ 0.84	83.10	年間有収水量 / 年間総配水量	

年間有収水量の推移



給水収益の推移



(2) 収益的収支〔施設の運転・管理等、水道事業を運営するための経費とその財源〕

収益的収入では、旧簡易水道地区の増加により給水収益は前年度比 0.78%増の 509,368 千円となり、営業収益、営業外収益を併せて 626,913 千円、前年度比 4.0%の増となりました。

収益的支出では、営業費用、営業外各費目において経費の節減を図りましたが、簡易水道事業の統合により減価償却費・資産減耗費を含め総体的に増額となり、事業費用では 653,429 千円となり前年度比 12.29%増となりました。

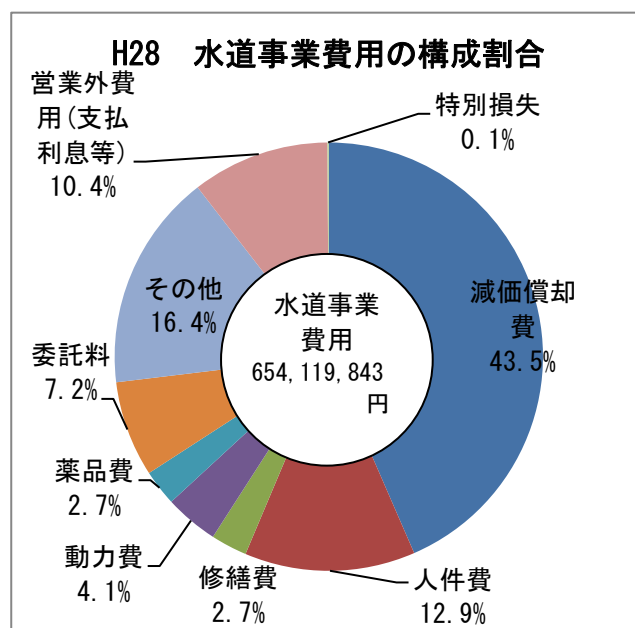
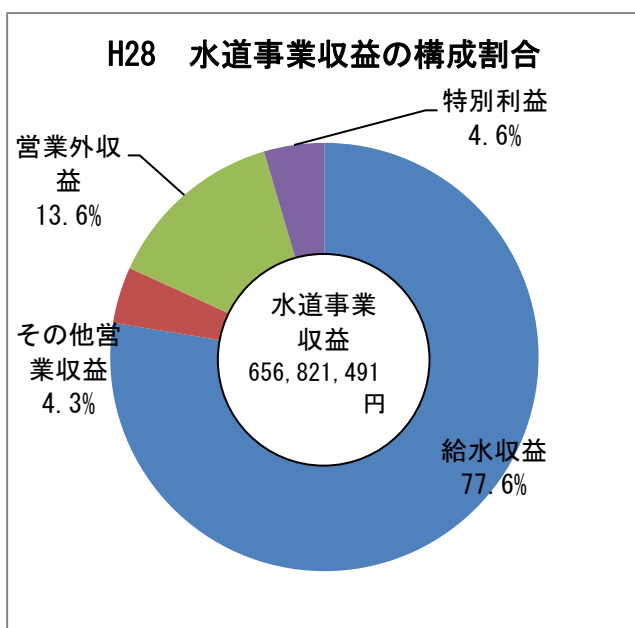
これにより経常的な収支では 26,515 千円のマイナスとなっております。

当年度の純損益につきましては、特別利益（退職給付引当金戻入）として 29,908 千円を利益計上することとなり、純利益は 2,702 千円となりました。

【収益的収支】

(単位:円[税抜])

科目	H28当初予算	H28決算	H27決算	差額	増減率
水道事業収益	638,648,000	626,913,284	602,818,973	24,094,311	4.00%
営業収益	552,525,000	537,377,981	553,875,437	△ 16,497,456	-2.98%
うち給水収益	507,084,000	509,368,318	505,445,688	3,922,630	0.78%
営業外収益	86,123,000	89,535,303	48,943,536	40,591,767	82.94%
水道事業費用	689,588,000	653,428,758	581,913,067	71,515,691	12.29%
営業費用	620,873,000	585,493,581	515,474,492	70,019,089	13.58%
営業外費用	68,715,000	67,935,177	66,438,575	1,496,602	2.25%
経常損益	△ 50,940,000	△ 26,515,474	20,905,906	△ 47,421,380	-226.83%
特別利益	1,680,000	29,908,207	12,206,427	17,701,780	145.02%
特別損失	1,000	691,085	0	691,085	—
当年度純損益	△ 49,261,000	2,701,648	33,112,333	△ 30,410,685	-91.84%
前年度繰越利益剰余金	15,936,000	33,112,333	0	33,112,333	—
当年度未処分利益剰余金	△ 33,325,000	35,813,981	33,112,333	2,701,648	8.16%



※金額は消費税及び地方消費税を含まない

(3) 資本的収支〔施設を建設整備するための経費とその財源〕

資本的収支では、資本的収入額 375,995 千円に対して、資本的支出額は 658,793 千円となり、資本的収入が資本的支出に対して不足する額 282,798 千円は過年度分損益勘定留保資金 259,722 千円、及び当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額 23,076 千円で補填いたしました。

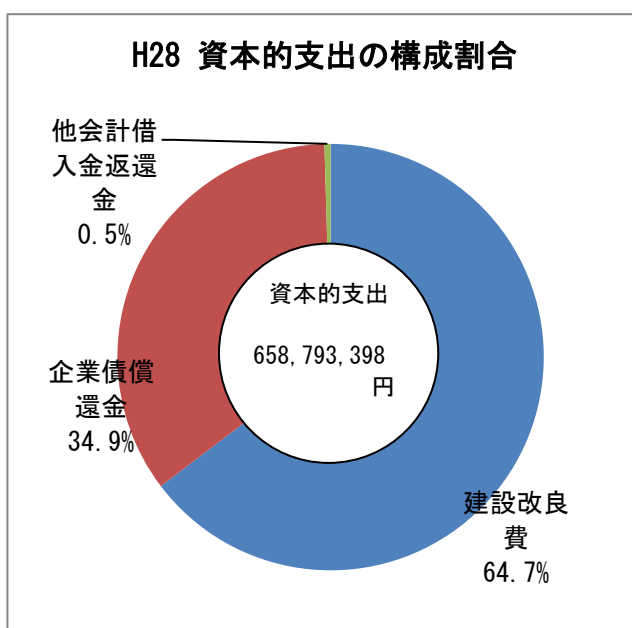
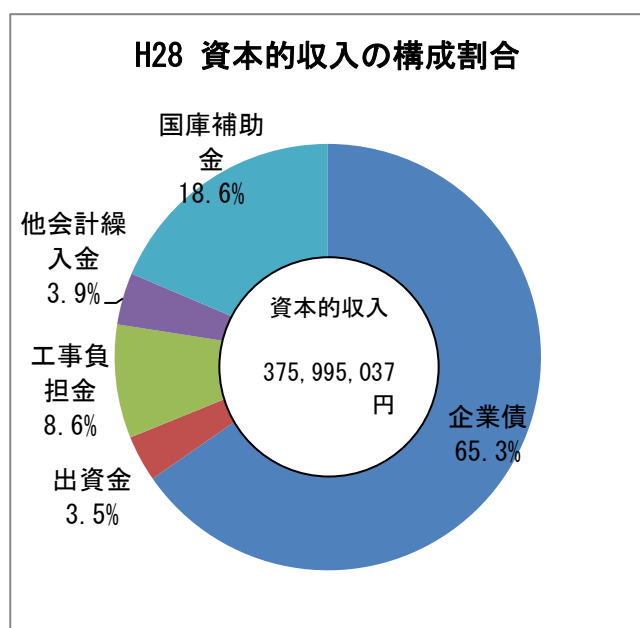
主な整備事業として、配水管網整備及び老朽管更新工事等で 55,404 千円、量水器取替工事で 68,677 千円、拡張事業送水管新設工事で 191,462 千円を取り組んでまいりました。

【資本的収支】

(単位:円[税込])

科目	H28当初予算	H28決算	H27決算	差額	増減率
資本的収入	398,155,000	375,995,037	341,597,644	34,397,393	10.07%
企業債	265,700,000	245,700,000	136,900,000	108,800,000	79.47%
出資金	153,000	13,174,400	68,078,000	△ 54,903,600	-80.65%
他会計借入金	0	0	27,000,000	△ 27,000,000	-100.00%
工事負担金	30,005,000	32,369,000	30,493,000	1,876,000	6.15%
他会計繰入金	28,663,000	14,817,637	14,929,644	△ 112,007	-0.75%
国庫補助金	73,634,000	69,934,000	64,197,000	5,737,000	8.94%
資本的支出	679,475,000	658,793,398	590,528,931	68,264,467	11.56%
建設改良費	451,708,000	432,107,724	381,822,491	50,285,233	13.17%
企業債償還金	222,729,000	221,648,174	205,981,440	15,666,734	7.61%
他会計借入金返還金	5,038,000	5,037,500	2,725,000	2,312,500	84.86%
資本的収支(不足額)	△ 281,320,000	△ 282,798,361	△ 248,931,287	△ 33,867,074	-13.60%

※資本的収入が資本的支出に不足する額は過年度損益勘定留保資金及び当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額で補填。金額は消費税及び地方消費税を含む。



(4) 平成 28 年度の主な事業

◎上水道第 2 期拡張事業【補助事業 1/3】《企業債》 204,355,722 円

第 2 期拡張事業として、平成 26 年度から平成 28 年度の 3 カ年で行った、名寄から風連への送水管布設の最終年工事。

送水管布設 $\phi 200L=2,526.04m$ 整備路線の 1/3 実施及び送水管を設置する風連浄水場の改修

【主な工事】

- ・簡易水道総合整備送水管新設工事（その 1） 36,666,000 円
- ・簡易水道総合整備送水管新設工事（その 2） 57,963,600 円
- ・簡易水道総合整備送水管新設工事（その 3） 53,092,800 円
- ・風連浄水場機械電気設備工事 43,740,000 円



(送水管橋梁添架工)



(風連浄水場内設備改修)

◎水源開発整備負担金【補助事業】《企業債・一般会計出資》 45,000 円

サンルダム建設工事に対する事業負担金

財源は 1/3 企業債、1/3 一般会計出資金となっています。



(サンルダム工事)

◎配水管網整備事業《企業債》 15,940,800 円

配水管未整備地区や道路改良工事に合わせた配水管の新設を行う。

【主な工事】

- ・風連新生 1 条線他配水管網整備
(HPPE $\phi 50$ $L=202.15m$) 3,304,800 円
- ・風連東 2 号線他配水管網整備
(HPPE $\phi 50$ $L=331.15m$) 6,426,000 円
- ・西町西 10 条左仲通配水管網整備
(HPPE $\phi 50$ $L=136.60m$) 3,672,000 円
- ・北 6 丁目西通りの 2 配水管網整備
(HPPE $\phi 50$ $L=144.30m$) 2,538,000 円
- ・配水管網整備実施設計業務委託 432,000 円



(仕切弁管布設工)

◎老朽管更新事業《企業債・国庫補助金（一部）》 62,229,600円

耐用年数が経過した配水管を計画的に更新する。

H28末現在、耐用年数（40年）の経過している管延長は67,479m

【主な工事】

- ・中央東7号線老朽管更新
(HPPE φ100 L=320.85m VP φ50 L=8.22m)
7,603,200円
- ・昭和通（南8丁目～南9丁目）老朽管更新
(HPPE φ100 L=320.85m φ75 L=8.97m
VP φ100 L=12.79m)
6,210,000円
- ・北7丁目西通老朽管更新工事
(HPPE φ100 L=17.15m φ50 L=138.45m
VP φ50 L=2.35m)
4,806,000円
- ・風連東1号線(27線～28線)老朽管更新工事
(HPPE φ50 L=546.70m VP φ50 L=9.6m)
16,794,000円
- ・老朽管更新実施設計業務委託
885,600円
- ・緑丘浄水場導水管更新工事《国庫補助金》
(D.NS.P φ400 L=101.5m)
26,816,400円



(配水管布設工)



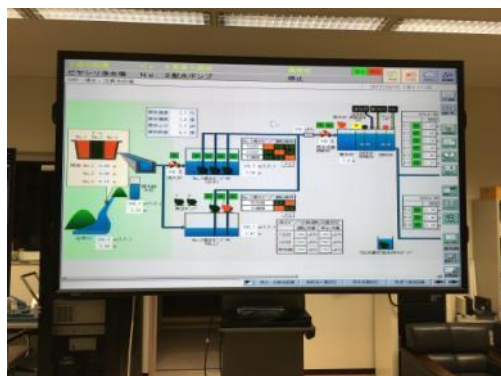
(導水管布設工)

◎浄水場施設改修事業《企業債（一部）》 46,651,960円

各浄水場の施設整備、水源井の改修など、10工事

【主な工事】

- ・緑丘浄水場 創設ろ過設備逆洗弁更新工事《企業債》 9,720,000円
- ・緑丘浄水場 DLP大画面更新工事《企業債》 8,748,000円
- ・緑丘浄水場 1・2 拡配水流量計更新工事《企業債》 3,056,400円
- ・緑丘浄水場 導水ポンプ場水中ポンプ更新工事《企業債》 6,804,000円
- ・緑丘浄水場 導水ポンプ場階段改修工事《企業債》 3,067,200円
- ・風連浄水場 活性炭ろ過機ろ材更新工事 9,936,000円
- ・風連浄水場 3号井戸改修工事 1,620,000円
- ・智恵文地区浄水場 井戸改修工事 3,024,000円



(DLP大画面更新)



(導水ポンプ場階段改修)

◎水質検査機器更新事業《企業債》 9,219,096 円

北海道水質管理計画に基づく中核自治体として、近隣市町村を含めた水質検査業務を受託しており、耐用年数（8～10年）が経過した機器を計画的に更新している。

【更新機器】

- ・水銀測定装置《企業債》 2,484,000 円
- ・分光光度計《企業債》 561,600 円
- ・固相抽出装置《企業債》 5,719,680 円
- ・水質試験室流し台 453,816 円



(固相抽出装置)

◎水道量水器取替工事《工事負担金》 68,677,200 円

量水器（水道メータ）は計量法に基づき使用期限が製造から8年間と定められていることから、8年を経過する前に取替工事を行っている。

財源は、工事負担金（下水道事業と個別排水事業から台数按分）と自己財源。

【取替数】

- ・名寄地区 1,520 個
- ・風連地区 227 個
- ・智恵文地区 33 個
- ・風連日進地区 6 個
- 合計 1,786 個



(量水器取替)

◎上下水道料金システム更新 14,212,800 円

上下水道料金システム機器が更新時期を迎えたため、システム更新と関連機器及び検針用ハンディターミナルの更新を行った。

- ・システム更新 8,901,316 円
- ・機器更新 1,464,907 円
- ・ハンディターミナル更新 3,846,577 円